

第3学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

柔道整復科

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	石垣 寛高	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論Ⅲ	曜日・時間	月曜日 9:10～

【授業概要・目標】 柔道整復に必要な基礎・応用力の向上

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	運動の目的・表し方・身体運動と力学、公衆衛生活動・健康の概念・疾病予防、疾病・細胞障害についての確認
2	運動器・神経の構造と機能、感染症と消毒法、循環障害についての確認
3	復習-1
4	運動感覚・反射と随意運動、環境衛生、進行性病変についての確認
5	四肢と体幹の構造・運動-1、生活環境・衛生活動、炎症についての確認
6	四肢と体幹の構造・運動-2、母子・学校保健、免疫とアレルギーについての確認
7	復習-2
8	四肢と体幹の構造・運動-3、産業保健、腫瘍についての確認
9	四肢と体幹の構造・運動-4、成人・高齢者保健、腫瘍についての確認
10	四肢と体幹の構造・運動-4、精神保健、先天性以上についての確認
11	復習-3
12	姿勢、地域・国際保健・行政衛生・保健制度、病因についての確認
13	歩行、医の倫理・疫学、病因についての確認
14	運動発達、運動学習、医の倫理・疫学、運動器の病理についての確認
◆	前期試験は別紙参照
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	総合-01
2	総合-02
3	総合-03
4	総合-04
5	総合-05
6	総合-06
7	総合-07
8	総合-08
9	総合-09
10	総合-10
11	総合-11
12	総合-12
13	総合-13
14	総合-14
◆	後期試験は別紙参照
15	評価・点検

評価方法	筆記試験、出席、授業態度、課題提出の総合で判定する。
授業の進め方	練習問題を中心に、各ポイントの確認、復習を行う。
注意 (学生に望むこと)	教科書の語句を正確に確認すること。
テキスト・参考書	運動学、病理学、衛生・公衆衛生学、その他必要な資料

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	石垣 寛高 (実務経験のある教員)	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復応用実技Ⅱ	曜日・時間	月曜日 10:50～

【授業概要・目標】

柔道整復に必要な技術、知識の習得

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-1
3	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-2
4	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-3
5	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-4
6	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-5
7	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-6
8	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-7
9	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-8
10	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-9
11	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-10
12	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-11
13	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-12
14	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-13
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-14
2	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-15
3	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-16
4	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-17
5	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-18
6	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-19
7	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-20
8	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-21
9	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-22
10	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-23
11	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-24
12	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-25
13	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-26
14	骨折、脱臼、軟部組織損傷を想定しての実技、内容の確認-27
15	評価・点検

評価方法	実技試験、出席、授業態度、課題提出、筆記試験の総合で判定する。
授業の進め方	実技、内容の確認
注意 (学生に望むこと)	毎回内容の予習と復習をしっかりとすること。
テキスト・参考書	柔道整復学理論編 柔道整復学実技編

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 務	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論 I	曜日・時間	火曜日 9:10～

【授業概要・目標】

柔道整復学の臨床に必要な知識を習得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 実力確認
2	柔整臨床に関する基礎 人体解剖学概説・人体の構成・血液
3	柔道整復に関する基礎 骨格系・血液・循環
4	柔整臨床に関する基礎 骨格系・循環・呼吸
5	柔整臨床に関する基礎 筋系・消化と吸収
6	柔整臨床に関する基礎 筋系・栄養と代謝・体温とその調節
7	柔整臨床に関する基礎 脈管系・尿の生成と排泄・内分泌
8	5～7回の復習
9	柔整臨床に関する基礎 脈管系・内臓系・内分泌系の機能
10	柔整臨床に関する基礎 内臓系・生殖・骨
11	柔整臨床に関する基礎 内臓系・体液・神経
12	柔整臨床に関する基礎 内分泌系・神経系
13	柔整臨床に関する基礎 神経系
14	柔整臨床に関する基礎 神経系・筋肉
◆	前期試験は別紙参照
15	柔整臨床に関する基礎 感覚器・体表解剖・映像解剖

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	実力確認
2	前期復習
3	人体解剖学～骨格系 生理の基礎～呼吸
4	筋系～脈管系(動脈系) 消化と吸収～内分泌系の機能
5	脈管系(静脈系)～内分泌系 内分泌系の機能～神経系の機能
6	神経系～体表解剖 神経系の機能～感覚
7	身体の構造と機能①
8	身体の構造と機能②
9	身体の構造と機能③
10	身体の構造と機能④
11	身体の構造と機能⑤
12	身体の構造と機能⑥
13	身体の構造と機能⑦
14	後期復習
◆	後期試験は別紙参照
15	全期復習

評価方法	筆記試験、出席(授業態度含む)などの総合評価
授業の進め方	特に国家試験でポイントとなる項目を他の科目とも繋がる様に应用させる。
注意 (学生に望むこと)	柔道整復学や解剖学・生理学の復習も行う。
テキスト・参考書	「柔道整復学・理論編」「解剖学」「生理学」(南江堂)

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

【授業概要・目標】

柔整の臨床に必要な基礎力、応用力をつける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	診察1 視診 / 総論-1
2	診察2 触診 / 総論-2
3	診察3 検査法 / 総論-3
4	診察4 症状 / 総論-4
5	疾患1 呼吸器疾患 / 頭部・頸部の骨折・脱臼
6	疾患2 循環器疾患 / 胸部・上肢の骨折-1
7	疾患3 消化器疾患1 / 上肢骨折-2
8	疾患4 総合 / 総合
9	疾患5 消化器疾患2 / 上肢骨折-3
10	疾患6 代謝疾患 / 上肢脱臼
11	疾患7 血液疾患 / 上肢軟損
12	疾患8 神経疾患 / 下肢骨折
13	疾患9 感染症 / 下肢脱臼
14	疾患10 リウマチ、アレルギー疾患 / 下肢軟損
◆	前期試験は別紙参照
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	疾患・柔理総合-1
2	疾患・柔理総合-2
3	疾患・柔理総合-3
4	疾患・柔理総合-4
5	疾患・柔理総合-5
6	疾患・柔理総合-6
7	疾患・柔理総合-7
8	疾患・柔理総合-8
9	疾患・柔理総合-9
10	疾患・柔理総合-10
11	疾患・柔理総合-11
12	疾患・柔理総合-12
13	疾患・柔理総合-13
14	疾患・柔理総合-14
◆	後期試験は別紙参照
15	評価点検

評価方法	筆記試験、出席、授業態度、課題提出の総合で判定する。
授業の進め方	練習問題を中心に、各ポイントの確認、復習を行う。
注意 (学生に望むこと)	教科書の語句を正確に確認すること。
テキスト・参考書	柔道整復学理論編・実技編、一般臨床医学教科書、その他参考書。

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	美濃谷 厚司	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復応用実技 I	曜日・時間	水曜日 9:10～

【授業概要・目標】

競技者の外傷予防と高齢者の外傷予防

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	運動生理学の概要 ① 座学
2	運動生理学の概要 ② 座学
3	運動生理学の概要 ③ 座学
4	運動生理学の概要 ④ 座学
5	競技者の外傷予防 ① 座学
6	競技者の外傷予防 ② 座学
7	競技者の外傷予防 ③ 実技
8	コンディショニング ① 実技
9	コンディショニング ② 実技
10	コンディショニング ③ 実技
11	コンディショニング ④ 実技
12	コンディショニング ⑤ 実技
13	コンディショニング ⑥ 実技
14	実技テスト
15	前期復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	肩関節 座学
2	肩関節 実技
3	体幹 座学
4	体幹 実技
5	膝関節 座学
6	膝関節 実技
7	足関節 座学
8	足関節 実技
9	オスグット 座学・実技
10	オスグット 実技
11	高齢者の外傷予防 座学
12	高齢者の外傷予防 実技
13	高齢者の外傷予防 実技
14	実技テスト
15	後期復習

評価方法	授業態度・筆記・実技の総合評価
授業の進め方	教科書メインで進め補足に資料を提供 講義と実技を半々
注意 (学生に望むこと)	積極的・意欲的に授業を受けて欲しい
テキスト・参考書	競技者の外傷予防

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	消化器外科	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	臨床鑑別診断学(半期)	曜日・時間	前期) 水曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 救急現場やスポーツ外傷の治療においては、柔道整復師含め医師以外の人間が初期対応を求められる場合がある。そのような場合に対応できるよう、症候毎の代表的な鑑別疾患を学び、患者状態に応じた適切な応急処置を行えるようになることを目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	内臓疾患の投影を疑う疼痛
2	腰痛を伴う疾患
3	化膿性の炎症など
4	血流障害を伴う損傷
5	末梢神経症状を伴う損傷
6	脱臼骨折
7	外出血を伴う損傷
8	病的骨折および脱臼
9	意識障害を伴う損傷
10	脊髄症状のある損傷
11	呼吸運動障害を伴う損傷
12	内臓損傷の合併が疑われる損傷
13	高エネルギー外傷
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	定期試験の結果により判定する
授業の進め方	教科書およびスライドを使用した講義形式
注意 (学生に望むこと)	
テキスト・参考書	医療の中の柔道整復

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	原田 淳	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論Ⅴ(後期)	曜日・時間	後期) 水曜日 10:50～

【授業概要・目標】

卒後に実施される実際の臨床実習がより有意義なものとなるよう臨床現場に必要な基本的知識・技術を学習すること。

1. 柔道整復師に必要な超音波観察法を習得する。
2. 臨床現場で超音波画像観察装置を用いインフォームドコンセントを習得する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1		1	授業の説明 ディスカッション
2		2	超音波工学の基礎
3		3	超音波機器の説明
4		4	肩疾患
5		5	上腕部疾患
6		6	肘部疾患
7		7	前腕部疾患
8		8	手部疾患
9		9	骨盤疾患
10		10	大腿疾患
11		11	膝疾患
12		12	下腿部疾患
13		13	足関節疾患
14		14	体幹部 肋骨 疾患
◆		◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15		15	予備日

評価方法	実技試験を行います。実技試験の中には、口頭試問、授業態度・服装等が含まれます。超音波を使って骨折模型を観察して絵に描いて説明して頂きます。 前期試験・後期試験 実技とも65点以上を合格とします。
授業の進め方	生徒同士、超音波を用い健側を観察しながら参考資料画像と照らし合わせ超音波画像の読み方を習得します。
注意 (学生に望むこと)	今まで習ってきた解剖学や外傷・障害の基礎が無いと読み取る事が出来無い為、授業前に各疾患の予習・復習を行っておくようにして下さい。
テキスト・参考書	参考書:『柔道整復師のための超音波観察法』(医歯薬出版株式会社) 『整形外科超音波診断アトラス』(南江堂) 『人体解剖カラーアトラス』(南江堂)

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐々木 賢	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床実技 I	曜日・時間	水曜日 13:10～

【授業概要・目標】

臨床実技に必要な知識、技術を学び、全員合格をめざす

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技試験の解説、DVDで説明
2	鎖骨骨折の整復法、固定法
3	上腕骨外科頸骨折の整復法、固定法(ミッデルドルフ)
4	コーレス骨折の整復法、固定法
5	肩鎖関節脱臼整復法、固定法
6	肩関節脱臼の整復法、固定法
7	肘関節脱臼の整復法、固定法
8	肘内障、総練習
9	第5中手骨頸部骨折の整復法、固定法
10	下腿骨骨幹部骨折
11	肋骨骨折
12	総練習
13	総練習
14	総練習
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	模試、認定実技試験に向けての練習
2	模試、認定実技試験に向けての練習
3	模試、認定実技試験に向けての練習
4	模試、認定実技試験に向けての練習
5	模試、認定実技試験に向けての練習
6	模試、認定実技試験に向けての練習
7	臨床実習
8	臨床実習
9	臨床実習
10	臨床実習
11	臨床実習
12	臨床実習
13	臨床実習
14	後期試験
15	評価・点検

評価方法	授業態度、課題、定期試験の総合で判断する
授業の進め方	本番に備えて平常で臨めるようにする
注意 (学生に望むこと)	授業で学び、練習を徹底して繰り返すこと
テキスト・参考書	柔道整復理論、実技書

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	笠原 岳人	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	水曜日 14:50～

【授業概要・目標】 柔道整復師として必要なリハビリテーションの知識や治療技術の習得を目標とする。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	リハビリテーション医学の歴史と発展
2	リハビリテーション医学の展開
3	リハビリテーション医学の関連職種
4	リハビリテーション医学の現状と課題
5	評価法① 姿勢評価と歩行分析
6	評価法② 身体計測(四肢長・四肢周径)
7	評価法③ 関節可動域・徒手筋力検査
8	評価法④ 日常生活動作評価・協調性テスト
9	運動療法① 運動療法の種類と内容
10	運動療法② 上下肢の運動療法
11	運動療法③ 体幹の運動学療法
12	治療法① 運動療法・作業療法・言語療法
13	治療法② 物理療法・補装具
14	前期講義のまとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	肢体不自由
2	廃用症候群
3	疾患① 脳血管障害
4	疾患② 脊髄損傷
5	疾患③ 小児疾患
6	疾患④ 関節リウマチ
7	疾患⑤ 糖尿病
8	疾患⑥ 切断
9	疾患⑦ 精神疾患(うつ病)
10	疾患⑧ 整形外科疾患 (骨折・変形性関節症)
11	疾患⑨ スポーツ傷害
12	生活習慣病の原因と予防
13	高齢期の身体変化と介護予防
14	後期講義のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	試験の点数・レポート課題・出席状況等により総合的に判断する
授業の進め方	テキストと配布資料等を用いて行います
注意 (学生に望むこと)	毎回ごとに資料を配布するのでファイル等で管理すること
テキスト・参考書	リハビリテーション医学(南江堂)

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復応用実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日 9:10～

【授業概要・目標】

柔道整復の臨床に必要な理論、技術の習得

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-1
3	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-2
4	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-3
5	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-4
6	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-5
7	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-6
8	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-7
9	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-8
10	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-9
11	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-10
12	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-11
13	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-12
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-13
2	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-14
3	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-15
4	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-16
5	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-17
6	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-18
7	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-19
8	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-20
9	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-21
10	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-22
11	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-23
12	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-24
13	外傷治療に必要な知識、鑑別、治療実技-25
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	出席、口答・実技・筆記試験、課題提出の総合評価とする。
授業の進め方	繰り返しの実技練習で技術を習熟していく。
注意 (学生に望むこと)	第28回国家試験から出題形式が変更され、実技編の内容からの出題が多くみられた。実技編の内容も熟知しておく必要がある。
テキスト・参考書	柔道整復学理論編、実技編

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	太田 作郎	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床実技Ⅱ	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】	
検査法・固定法実技の練習、習得 練習問題を実施し、わからない部分の把握	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技授業の進め方、肩の軟損実技
2	肩の軟損検査実技、 (柔整練習問題 No.1)
3	大腿の軟損検査実技、 (柔整練習問題 No.2)
4	膝の軟損検査実技、 (柔整練習問題 No.3)
5	膝・下腿の軟損検査実技、 (柔整練習問題 No.4)
6	足の軟損検査実技、 (柔整練習問題 No.5)
7	脱臼の固定実技、 (柔整練習問題 No.6)
8	脱臼の固定実技、 (柔整練習問題 No.7)
9	軟損の固定実技、 (柔整練習問題 No.8)
10	軟損の固定実技、 (柔整練習問題 No.9)
11	軟損の検査実技、 (柔整練習問題 No.10)
12	脱臼の固定実技、 (柔整練習問題 No.11)
13	軟損の固定実技、 (柔整練習問題 No.12)
14	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.13)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検、前期試験解説、 (柔整練習問題 No.14)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.15)
2	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.16)
3	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.17)
4	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.18)
5	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.19)
6	全体実技練習、 (柔整練習問題 No.20)
7	症例、骨折・脱臼・軟損 1、 (柔整練習問題 No.21)
8	症例、骨折・脱臼・軟損 2、 (柔整練習問題 No.22)
9	症例、骨折・脱臼・軟損 3、 (柔整練習問題 No.23)
10	症例、骨折・脱臼・軟損 4、 (柔整練習問題 No.24)
11	症例、骨折・脱臼・軟損 5、 (柔整練習問題 No.25)
12	症例、骨折・脱臼・軟損 6、 (柔整練習問題 No.26)
13	症例、骨折・脱臼・軟損 7、 (柔整練習問題 No.27)
14	症例、骨折・脱臼・軟損 8、 (柔整練習問題 No.28)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検、後期試験解説、 (柔整練習問題 No.29、30)

評価方法	実技試験結果、実技レポート 練習問題結果、定期試験結果、練習問題訂正レポート
授業の進め方	実技の繰り返し練習、実技レポート提出 練習問題にて、わからない・あやふやなところの把握、問題訂正レポート提出
注意 (学生に望むこと)	実技練習を繰り返し行い習得する 練習問題は解くだけでなく、わからない・あやふやなところを把握
テキスト・参考書	柔道整復学・理論編、柔道整復学・実技編、認定実技審査要項、整形外科学、 整形外科テスト法、包帯固定学、整骨学、アスレチックトレーナー・テキスト

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	太田 作郎	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論Ⅳ	曜日・時間	木曜日 13:10～

【授業概要・目標】

柔道整復術の適応判断の理解
練習問題を実施し、わからない部分の把握

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	業務範囲と心得、 (柔整練習問題 No.1)
2	倫理綱領、(柔整練習問題 No.2)
3	施術の適応判断、 (柔整練習問題 No.3)
4	注意すべき徴候、 (柔整練習問題 No.4)
5	内臓疾患を疑う疼痛、 (柔整練習問題 No.5)
6	腰痛を伴う疾患、 (柔整練習問題 No.6)
7	化膿性の炎症・褥瘡、 (柔整練習問題 No.7)
8	血流障害の判断、 (柔整練習問題 No.8)
9	神経損傷の判断、 (柔整練習問題 No.9)
10	脱臼骨折の判断、 (柔整練習問題 No.10)
11	外出血の判断、 (柔整練習問題 No.11)
12	病的骨折の判断、 (柔整練習問題 No.12)
13	意識障害の損傷、 (柔整練習問題 No.13)
14	脊髄症状の損傷、 (柔整練習問題 No.14)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検、前期試験解説、 (柔整練習問題 No.15)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	異常呼吸の判断、 (柔整練習問題 No.16)
2	内臓損傷の判断、 (柔整練習問題 No.17)
3	高エネルギー外傷、 (柔整練習問題 No.18)
4	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.19)
5	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.20)
6	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.21)
7	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.22)
8	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.23)
9	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.24)
10	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.25)
11	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.26)
12	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.27)
13	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.28)
14	柔道整復術の適応、 (柔整練習問題 No.29)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検、後期試験解説、 (柔整練習問題 No.30)

評価方法	定期試験結果、レポート 練習問題結果、練習問題訂正レポート
授業の進め方	柔道整復術の適応の解説、教科書レポート提出 練習問題にて、わからない・あやふやなところの把握、問題訂正レポート提出
注意 (学生に望むこと)	柔道整復術の適応を理解 練習問題は解くだけでなく、わからない・あやふやなところを把握
テキスト・参考書	柔道整復術の適応、柔道整復学・理論編、療養費の支給基準 柔道整復学・実技編、整形外科学、整形外科診断のすすめ方、整骨学

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	太田 作郎	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道整復臨床理論Ⅴ(半期)	曜日・時間	前期) 木曜日 14:50～

【授業概要・目標】	
骨折・脱臼・変形・etc. X線の読影	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	医用画像の理解
2	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 1
3	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 2
4	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 3
5	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 4
6	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 5
7	整形外科 症例X線 骨折・脱臼 6
8	整骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 1
9	整骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 2
10	整骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 3
11	整骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 4
12	接骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 1
13	接骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 2
14	接骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 3
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検、接骨院 症例外観X線 骨折・脱臼 4

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	定期試験結果、レポート
授業の進め方	X線・外観写真を見比べ判断する
注意 (学生に望むこと)	X線・外観写真を見比べ理解する
テキスト・参考書	柔道整復学・理論編、柔道整復学・実技編、整形外科・整骨院・接骨院 X線・外観写真

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	小原 賢	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	柔道Ⅲ	曜日・時間	金曜日 9:10～

【授業概要・目標】

柔道Ⅱに引き続き、認定実技審査内容を含めた授業を進めます。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション、 認定実技審査について
2	投の形 手技3本指導、練習
3	投の形 腰技3本指導、練習
4	投の形 足技3本指導、練習
5	投の形 手技3本、 約束乱取り指導、練習
6	投の形 腰技3本、 約束乱取り指導、練習
7	投の形 足技3本、 約束乱取り指導、練習
8	認定実技審査内容の指導、 練習一①
9	認定実技審査内容の指導、 練習一②
10	認定実技審査内容の指導、 練習一③
11	礼法、受け身、投の形、 約束乱取り復習及び練習
12	礼法、受け身、投の形、 約束乱取り復習及び練習
13	前期実技試験内容説明、練習
14	前期実技試験一①
15	前期実技試験評価点検、 柔道の歴史など(国試内容含む)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期習得内容復習
2	認定実技審査内容の指導、 練習一①
3	認定実技審査内容の指導、 練習一②
4	認定実技審査内容の指導、 練習一③
5	認定実技審査内容の指導、 練習一④
6	認定実技審査内容の指導、 練習一⑤
7	固技の動作(攻め方、守り方)
8	絞技指導、実践 落ちた場合の対処法
9	関節技(逆技)指導
10	寝技総合練習、指導
11	掛かり練習(打ち込み)、 自由練習(乱取)
12	柔道の試合と礼法・礼節
13	後期実技試験内容説明、練習
14	後期実技試験一①
15	後期評価点検

評価方法	実技試験、授業態度、認定実技審査の結果にて総合評価する。
授業の進め方	前期:「投の形」の高度な習得に重点を置きます。後期:認定実技審査に対応しての指導をします
注意 (学生に望むこと)	柔道実技では怪我をしないように毎回真剣に取り組むことを望みます。
テキスト・参考書	「投の形」と投技(乱取り)は講道館のDVDを使用します。

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	鈴木 法日児	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	関係法規	曜日・時間	金曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 国民の保健・医療・福祉の増進のため、柔整学校師の役割及び職業倫理を学ぶ。具体的には、生命倫理や人権の諸問題にも目配りしつつ、柔道整復師法その他関係法令の学習を行い、これを通じて柔道整復師として備えるべき法的思考を身につける

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	「関係法規」について
2	法学の基礎
3	医療制度と法
4	医療法(1)
5	医療法(2)
6	医療法(3)
7	地域保健法
8	医師法(1)
9	医師法(2)
10	医師法(3)
11	その他の医療関係者と法(1)
12	その他の医療関係者と法(2)
13	その他の医療関係者と法(3)
14	その他の医療関係者と法(4)・復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	柔道整復師法・沿革
2	柔道整復師法・総則
3	柔道整復師法・資格法(1)
4	柔道整復師法・資格法(2)
5	柔道整復師法・資格法(3)
6	柔道整復師法・資格法(4)
7	柔道整復師法・業務法(1)
8	柔道整復師法・業務法(2)
9	柔道整復師法・施術所(1)
10	柔道整復師法・施術所(2)
11	医業類似行為
12	その他の関係法令(1)
13	その他の関係法令(2)
14	その他の関係法令(3)・復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期及び後期の試験によって評価する。
授業の進め方	レジュメ(プリント)を配布し、これに従い可能な限り平易に進めたい。
注意 (学生に望むこと)	講義を聴き、ノートをとる。法令の条文に慣れ、地道に予習と復習を行うこと。質問を厭わないこと。
テキスト・参考書	最新版の医療六法(中央法規)必携。 参考書として、全国柔整学校協会監修・前田和彦編著「関係法規」最新版。

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 一望	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	整形外科学	曜日・時間	金曜日 13:10～

【授業概要・目標】

概要: 前期では総論として、整形外科の診察法、検査法、治療法および整形外科が扱う運動器の外傷・疾患について学ぶ。後期では主に身体部位別に運動器の外傷・疾患についての理解を深める。
目標: 整形外科が扱う主要な外傷・疾患の要点を述べる事が出来る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	整形外科とは
2	運動器の基礎知識(1)
3	運動器の基礎知識(2) 整形外科診察法(1)
4	整形外科診察法(2)
5	整形外科診察法(3) 整形外科検査法(1)
6	整形外科検査法(2) 整形外科的治療法(1)
7	整形外科的治療法(2) 骨・関節損傷総論(1)
8	骨・関節損傷総論(2)／感染性疾患 ／骨および軟部腫瘍(1)
9	骨および軟部腫瘍(2) 非感染性軟部・骨関節疾患
10	全身性の骨・軟部疾患／骨端症
11	四肢循環障害／神経筋疾患(1)
12	神経筋疾患(2)
13	神経筋疾患(3) リハビリテーション総論(1)
14	リハビリテーション総論(2)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	頸部(1)
2	頸部(2)／胸部／腰部(1)
3	腰部(2)
4	腰部(3)／肩・肩甲帯
5	上腕・肘関節(1)
6	上腕・肘関節(2)／前腕／ 手関節(1)
7	前腕 手関節(2)／手・手指／ 骨盤・股関節(1)
8	骨盤・股関節(2)
9	骨盤・股関節(3)
10	骨盤・股関節(4) 大腿・膝関節(1)
11	大腿・膝関節(2) 下腿・足関節(1)
12	下腿・足関節(2)／足・足趾(1)
13	足・足趾(2)
14	スポーツ整形外科
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験、小テスト他
授業の進め方	パワーポイントを使用し授業を進める。
注意 (学生に望むこと)	テキストの次回講義予定項目の部分を、事前に読んでおくこと。
テキスト・参考書	整形外科学(南江堂)

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	消化器外科	学科・年	柔道整復医療科 3年
科目名	外科学概論	曜日・時間	金曜日 14:50～

【授業概要・目標】

前期は外科学の基礎となる総合的な事項を、後期は実臨床において遭遇することが多い代表的な外科疾患を各臓器別に授業で扱っていく。例として、筋肉痛と思いついて来院した背部痛や肩の痛みの患者さんが胃潰瘍や胆石症、心筋梗塞である場合などもあり、通年で基礎的事項を習得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	外科総論
2	熱傷
3	炎症・感染症
4	腫瘍
5	腫瘍/症状から
6	ショック・輸血
7	輸液
8	消毒、手術
9	麻酔
10	局所麻酔
11	移植
12	出血・止血
13	心肺蘇生
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	脳外科
2	脳外/主な疾患から
3	甲状腺・胸壁
4	肺疾患
5	心臓、心膜炎まで
6	心臓、虚血性心疾患から
7	乳腺
8	腹部外科解剖生理
9	腹部症状・検査
10	食道・胃
11	大腸
12	肝胆膵
13	ヘルニア、肛門
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果により判定する
授業の進め方	教科書およびスライドを使用した講義形式
注意 (学生に望むこと)	
テキスト・参考書	外科学 医歯薬出版

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	柔道整復科3年
科目名	臨床実習	曜日・時間	月火・3・4時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備（補助）ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（柔道整復医療科）

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
解剖学Ⅱ	1年次	60	小原 賢	5年以上	接骨院（整骨院）に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行っている。
柔道整復基礎理論Ⅱ	1年次	60	石垣寛高	10年以上	病院に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸接骨院で接骨の臨床を行っている。
柔道整復基礎理論Ⅲ	1年次	60	小原 賢	5年以上	接骨院（整骨院）に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行っている。
柔道整復応用理論Ⅳ	2年次	60	石垣寛高	10年以上	病院に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸接骨院で接骨の臨床を行っている。
手技療法Ⅱ	2年次	60	高橋武彦	20年以上	病院・接骨院（整骨院）に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸接骨院で接骨の臨床を行っている。
柔道整復応用実技Ⅱ	3年次	60	石垣寛高	10年以上	病院に勤務経験をもち、現在も付属鍼灸接骨院で接骨の臨床を行っている。
	合計時間数	360			